

江差町における医療・健診・介護データの統合化による健康課題抽出の試み

研究の目的・意義:

本研究では、市町村が保有している医療・健診・介護データを、総合行政システムコード等を利用して個人単位で統合してデータベース化を図ります。これにより時系列、個別・集団的解析を通じて様々な生活習慣病の予防を行う上で必要な市町村特有の健康課題の抽出を行い、その改善の方向性を見極め、保険者(市町村)としての健康維持増進施策に役立つ分析が可能となるかを検証する研究です。

研究の方法:

本研究では檜山郡江差町のご協力を得て、江差町が管理保有する医療レセプト等に係るデータのうち 2015~2019 年度の 5 か年度分について、個人情報秘匿化(ハッシュ化により保護)した形で札幌医科大学が提供を受け、医療、健診、介護の 3 つのデータの統合化とデータベース化を図り、解析を行います。

この研究は、札幌医科大学倫理委員会の承認を得ており、個人情報の保護には十分留意されております。

解析に用いるデータは個人が特定されることはありません。

本調査研究へのご理解ご協力をお願いします。

ご不明な点がございましたら、下記連絡先までご一報ください。

連絡先 札幌医科大学 医学部 公衆衛生学講座

教授 大西浩文

研究員 山口徳蔵

(代) 011-611-2111 (27400)

(直) 011-688-9540